



生命（いのち）の安全教育

子ども・若者の未熟さ・立場の弱さを利用した性加害のニュースがあとを絶たない昨今、性犯罪・性暴力の根絶は待ったなしの課題となっています。そのような中、国においても子どもたちが性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないよう「生命（いのち）の安全教育」を推進しています。本市でも、各幼児教育施設において、発達の段階に応じた取組が行われています。

今回は、令和4年度文科省「学校等における生命（いのち）の安全教育推進事業」を受託した私立幼稚園連盟の取組として、各園で作成された教材等を紹介します。



文部科学省
 ホームページ

「生命（いのち）の安全教育」教材等の紹介

本城東幼稚園 DVD「誰にだってある大切なもの」

【内容】

ぬいぐるみのくまのタンタンがダンゴムシや人形、チョウチョに出会うことを通して、「自分の体の大切さ」「他人の体の大切さ」「不快なときには、やめてと言う」「自分自身が大切な存在であること」等に気付くことができる内容です。



むつみ幼稚園 紙芝居「みんなの気持ち」

【内容】

主人公のそう君は、元気な男の子です。「遊びに入れて」とお願いしますが、なかなか遊びに入れてもらえません。でも、遊びに誘ってくれる友達がいきました。遊びに入れてもらい、そう君は、ふわふわいい気持ちになる内容です。



絵本「ピッタリをさがして」

【内容】

主人公はジグソーパズルのピース君です。ずっと、迷子で一人ぼっちで過ごしています。わたしにピッタリの仲間を探しに冒険の旅に出かけ、「一人一人が、唯一無二の存在であること」に気付くことができる内容です。

下上津役幼稚園 パネルシアター「トッコちゃんとママのとくべつだいじ」

【内容】

5歳の女の子トッコちゃんの「どうしてパンツをはくの？」という疑問からお話は進んでいきます。お母さんが体の中で特別大事な部分（プライベートパーツ）について話をし、トッコちゃんが自分の体について理解を深めていく内容です。



くさみ幼稚園 ペープサート

「自分の気持ち」

【内容】

友達と遊んでいるときや、知っている大人の人、知らない人から声をかけられたとき、その人の話を聞いて、「いや！」「やめて！」「いいよ！」等、自分の気持ちを、分身のペープサートを使って相手に伝えられる内容になっています。

また、そのときの心の様子を触素材【タイル（冷）・ファー素材（温）】でも表現できるようにしています。



教材の貸出ができます♪

各園の実践で使われた教材は、幼児教育センターで保管しています。教材活用にあたっての手引きも作成していただいておりますので、是非とも自園での保育にご活用ください。

その他、幼児教育センターでは、絵本・保育指導案や保育資料などの貸出も行っています。

どうぞお気軽にお立ち寄りください。

